

平成26年第2回  
組合議会定例会議事録

招集日 平成26年5月22日

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

ふじみ衛生組合議会



# 平成26年第2回 組合議会定例会議事録

招集日 平成26年5月22日(木)

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

## 1. 出席議員(10名)

1番 平野 充

2番 川畑 英樹

3番 渡辺 進二郎

4番 広瀬 美知子

5番 田中 久和

6番 緒方 一郎

7番 半田 伸明

8番 田中 順子

9番 石井 良司

10番 大城 美幸

## 2. 欠席議員(0名)

### 3. 出席説明員

管 理 者	清 原 慶 子	副 管 理 者	長 友 貴 樹
参 与	河 村 孝	参 与	小 林 一 三
総 務 主 幹	清 水 富美夫	総 務 主 幹	柏 原 公 毅
清 掃 主 幹	小 池 晋	清 掃 主 幹	上 野 洋 樹
人 事 主 幹	井 上 忍	文 書 主 幹	一 條 義 治
財 務 主 幹	石 坂 和 也	契 約・検 査 主 幹	刀 祢 平 秀 輝
会 計 管 理 者・ 出 納 主 幹	浜 三 昭	監 事 務 局 查 長	池 田 宏 太 郎
事 務 局 長	井 上 稔	事 務 局 次 長	齊 藤 忠 慶
総 務 課 長	荻 原 正 樹	施 設 課 長	澤 田 忍

午前9時55分開会

○副議長（石井良司君） これより、平成26年第2回ふじみ衛生組合議会定例会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

---

#### 日程第1 議席の指定

○副議長（石井良司君） 日程第1、議席の指定を行います。

今回選出されました調布市議会田中久和議員の議席は、組合議会会議規則第2条第2項の規定により、ただいまご着席の議席番号5番に指定いたしたいと思っております。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

---

#### 日程第2 会期の決定

○副議長（石井良司君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は本日1日といたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（石井良司君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日とすることに決定いたしました。

---

#### 日程第3 会議録署名議員の指名

○副議長（石井良司君） 続きまして、日程第3、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第36条の規定により、5番田中久和君及び10番大城美幸さんを指名いたします。よろしいでしょうか。

---

#### 日程第4 議長選挙

○副議長（石井良司君） 日程第4、これより議長選挙を行います。

議長は、従来より、調布市議会選出議員の中から選挙してまいりましたので、今回もそのようにいたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（石井良司君） ご異議なしと認め、議長は調布市議会選出議員の中から選挙

することに決定いたしました。

選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定に基づき指名推選によりいたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(石井良司君) ご異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることと決定いたしました。

ここで、暫時休憩いたします。なお、調布市議会選出の議員の方々は第1会議室へお集まりいただきたいと思えます。

休憩いたします。

午前 9時59分 休憩

午前10時04分 再開

○副議長(石井良司君) それでは、休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

お諮りいたします。候補者を副議長において指名することにしたいと思えますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(石井良司君) ご異議なしと認め、よって、副議長において指名することに決定いたしました。

ふじみ衛生組合議会議長に、渡辺議員を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま副議長において指名いたしました渡辺議員を、ふじみ衛生組合議会議長の当選人と定めることに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(石井良司君) ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました渡辺議員が、ふじみ衛生組合議会の議長に当選されました。

議長に当選されました渡辺議員が議場におられますので、会議規則第32条の規定により、その旨を告知いたします。

それでは、ここで議長に当選されました渡辺議員にご挨拶をお願いいたしまして、議長を交代いたしたいと思えます。皆様、ご協力ありがとうございました。

○議長(渡辺進二郎君) 皆さん、改めましておはようございます。

ただいま、石井副議長よりご指名をいただきました。そしてまた、議員の皆さんに賛同いただきまして、議長という大役を仰せつかりました渡辺進二郎でございます。よろしく

お願いいたします。石井副議長さん、そして、議員の皆さんや正副管理者の皆さん、そして、職員の皆さんとともに、協力し合って、議会運営、円滑に進めてまいりたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございます。ご挨拶にかえさせていただきます。(拍手)

○議長（渡辺進二郎君） それでは、引き続き、会議を続けます。

日程に入る前ですが、事務局より、会議の状況を写真撮影したいとの申し出があり、これを許可したいと思いますので、ご了承ください。

---

#### 日程第5 管理者報告

○議長（渡辺進二郎君） 続きまして、日程第5、管理者報告に入ります。それでは管理者、お願いいたします。

清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 皆様、おはようございます。ふじみ衛生組合の庭の緑もすっかり初々しく、その色を鮮やかにしておりまして、爽やかな季節の今日このごろですが、議員の皆様におかれましては、両市の定例議会を控えまして、何かとお忙しい時期に、平成26年第2回ふじみ衛生組合議会定例会をお願い申し上げまして、大変恐縮に存じております。

本日新たに渡辺進二郎議員さんが議長に就任されました。どうぞよろしくお願いいたします。また、田中議員さんも改めましてどうぞよろしくお願いいたします。

引き続き、ふじみ衛生組合議会の皆様と私たちともに、両市の市民の皆様のために努力をさせていただければ幸いです。

それでは、早速報告に入らせていただきます。

本日、報告申し上げる事項は5件でございます。

ご報告の第1は、ふじみ衛生組合人事についてでございます。

参考資料をごらんください。三鷹市、調布市両市の3月31日付及び4月1日付の人事異動に伴いまして、組合においても人事発令をいたしましたので報告をさせていただきます。

事務局長につきましては、再任用期間を更新いたしまして、引き続き井上稔さんに人事を発令いたしました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

その他、課長級以下の人事異動につきましては、後ほど事務局長より報告をいたさせま

すのでよろしくお願いいたします。

ご報告の第2件目は、ごみ処理実績についてでございます。なお、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきますので、あらかじめご了承をお願い申し上げます。

まず、資料-1をごらんください。クリーンプラザふじみの平成26年1月から3月までの処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は1万5,871トンでございました。その内訳といたしましては、三鷹市が6,407トン、調布市7,506トン、リサイクルセンターの可燃性残渣が1,958トンとなっています。

組織市の搬入割合を申し上げますと、三鷹市が46.0%、調布市が54.0%でございます。

焼却処理につきましては1万6,351トンでございまして、焼却灰等1,920トンを搬出いたしました。

続きまして、資料-2をごらんください。クリーンプラザふじみにおける平成25年4月から平成26年3月までの平成25年度1年間の処理実績でございます。総搬入量は6万8,709トンでございました。その内訳といたしましては、三鷹市が2万8,880トン、調布市が3万2,802トン、リサイクルセンターの可燃性残渣が7,027トンとなっています。

組織市の搬入割合を申し上げますと、三鷹市が46.8%、調布市が53.2%でございます。

焼却処理につきましては6万6,577トンでございまして、これに伴う売電量は、リサイクルセンターへの電力供給も含めまして約2万2,341メガワット時となりました。その収入につきましては3億7,500万円余と見込んでいます。また、処理後の焼却灰等7,869トンを搬出いたしました。

続きまして、資料-3をごらんください。リサイクルセンターの平成26年1月から3月までの処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は4,503トンでございまして、前年度と比較いたしますと13トン、0.3%の減となっています。その内訳といたしましては、三鷹市が2,335トンで、構成比51.9%、前年度比7トン、0.3%の増、調布市が2,167トンで、構成比48.1%、前年度比20トン、0.9%の減となっています。

続きまして、資料-4をごらんください。同じくリサイクルセンターにおける平成

25年度1年間のごみ処理実績でございます。総搬入量は1万8,642トンでございます。前年度と比較いたしますと603トン、3.1%の減となっております。その内訳といたしましては、三鷹市が9,587トンで、構成比51.4%、前年度比259トン、2.6%の減、調布市が9,056トンで、構成比48.6%、前年度比344トン、3.7%の減となっております。

なお、詳細につきましては、事務局長より説明をいたさせます。

ご報告の第3件目は、クリーンプラザふじみの運営についてでございます。

2点、ご報告を申し上げます。

初めに、見学者数の状況についてでございます。資料-6をごらんください。平成25年度1年間の視察・見学者数の実績でございます。7,397人もの皆様に来場していただきました。三鷹市、調布市における環境学習の拠点の一つとして、これからも多くの市民の皆様に訪れていただき、親しまれる施設になるよう、展示の充実などに努めてまいります。

また、表の欄外にありますように、アジアを中心に11カ国からの視察を受け入れました。都心近接の最新鋭施設ということで、当分の間、海外からの多くのお客様が訪問されるものと思われまます。これまでも申し上げてきましたが、国際貢献に少しでも寄与できるよう積極的に受け入れてまいりたいと存じます。

2点目は、1号炉の緊急停止についてでございます。参考資料をごらんください。4月23日の午前、1号炉の排ガス中の水銀濃度が自主規制値である0.05ミリグラムを超えました。活性炭の吹き込み量を増やすなどの措置を講じましたが、2時間経過後も数値が下がらないため、焼却炉を停止いたしました。安全衛生専門委員会委員長及び地元協議会の正副会長にご報告し、ご理解をいただいた上で、4月26日の午後、ごみの焼却を再開いたしました。

原因につきましては、これまで同様に特定が困難な状況にあります。2号炉の排ガスでは一切水銀を検知していないことから、一定量の水銀の塊が1号炉に投入された可能性があると考えています。すなわち電池のような小さなものが多量に焼却されたのではなく、少なくとも血圧計あるいは水銀の保管容器といったものが混入したのではないかと推測をしております。

昨年7月以降、運転状況が安定的に推移し、稼働2年目を迎えたやさきのこの4月、こうした事態が生じてしまいました。決して私たちは油断をしていたとは思っておりません

けれども、改めまして原点に立ち返って、安全、安心に最大限に意を用い、数値の監視などに努めるよう、改めて事務局に指示をいたしました。

具体的な対応といたしましては、市民の皆様や事業者の皆様へのきめ細かな啓発活動のほか、搬入車両の抜き打ち検査など、これまで以上に水際での搬入防止対策を強化するとともに、現在準備を進めております水銀保有実態調査を実施いたしまして、早期に対応方針をお示しできますよう、三鷹市、調布市と連携して取り組みを深めてまいります。

ご報告の第4件目は、地元協議会等についてでございます。

地元協議会につきましては、2月20日に第35回、4月25日に第36回の協議会を開催いたしました。各種環境測定結果をご報告いたしますとともに、平成26年度のスケジュールについて協議と確認を行いました。次回は7月25日に開催いたします。その後、10月、1月に協議会を、9月に施設見学会を予定しています。また、第2回ふじみまつりにつきましても、昨年度同様、実行委員会方式で開催することが了承されまして、住民側から委員のご選出をしていただきました。開催予定につきましては、昨年と同じく11月23日を軸に調整しているところでございます。企画内容につきましては、これから具体的に検討することとなりますが、三鷹市、調布市両市の住民の交流がさらに深まり、親しまれる施設づくりへのPRの場となりますよう、工夫を凝らしたいと考えています。

次に、安全衛生専門委員会につきましては、4月10日に第6回の委員会を開催いたしました。地元協議会と同様に、各種環境測定結果を報告いたしますとともに、平成26年度のスケジュールについて協議と確認を行いました。また、前回に引き続きまして、健康状態のモニタリングにつきまして、問診や健康診断データの収集など、医学的な見地から議論がなされました。次回は7月10日に開催いたします。引き続き安全、安心な施設づくりについて、集中的に議論されるとの報告をいただいているところです。

ご報告の第5点目は、武蔵野市との相互支援の実施についてでございます。

参考資料をごらんください。相互支援協定に基づきまして、4月14日から4月25日まで、武蔵野市のごみをクリーンプラザふじみで受け入れました。逆に、クリーンプラザふじみが年次点検となります6月2日から6月13日には、ふじみ衛生組合として、三鷹市のごみを武蔵野市の施設に搬入する予定となっております。

私からの報告は以上でございますが、事務局長より補足説明をいたさせますので、よろしく願いいたします。

○議長（渡辺進二郎君） 井上事務局長。

○事務局長（井上稔君） 私からは管理者報告につきまして、補足報告をさせていただきます。

初めに、組合職員の人事異動につきましてご紹介申し上げます。お手元の参考資料、人事異動についてをごらんください。

初めに、派遣者に関する人事異動についてでございます。

総務課の佐藤昌一課長補佐、山本幸正係長、施設課の村上満喜雄主査が派遣を解かれ、調布市に戻りましたので、その後任に、調布市から、総務課には田中賢治係長及び林主任が、施設課には赤塚房敏主任がそれぞれ就任をいたしました。また、総務課及び三鷹市監査事務局を併任されていた井上直美主任が併任を解かれ、三鷹市に戻りましたので、その後任として、三鷹市から総務課及び三鷹市監査事務局主査として宮原妙香さんが併任をされました。

次に、特別職及び再任用職員についてでございます。引き続き非常勤特別職参事として土方明さんをお願いいたしております。一方、深井恭さん及びボイラー・タービン主任技術者の和田良英さんのお二方につきましては、3月31日をもって参事の職を退任されました。後任につきましては、三鷹市から再任用職員として、総務課には大堀和彦主任が、施設課には指田和男主任がそれぞれ就任いたしました。

最後に、兼職職員の人事異動についてです。次の参考資料をごらんください。

人事主幹に、三鷹市職員課長の井上忍さんが、財務主幹に、三鷹市財政課長の石坂和也さんが、監査事務局長に、三鷹市監査事務局長の池田宏太郎さんが新たに就任をされています。

組合職員の人事異動の報告につきましては以上でございますが、本年4月1日現在の組織体制につきましては、参考資料、ふじみ衛生組合（議員・理事者・兼職職員・事務局職員）名簿をご配布申し上げましたので、ご参照いただければと存じます。

続きまして、ご報告の第2件目、可燃ごみを除くごみ処理実績につきまして報告をさせていただきます。

初めに、資料-3をごらんください。リサイクルセンターの平成26年1月から3月までの3カ月間の状況でございます。

搬入実績につきましては、前年同期と比較いたしまして0.3%の減少でございます、ほぼ横ばいといった状況になっています。搬出実績につきましては、稼働日数が少なかったこともあり、前年同期と比較いたしまして、総搬出量が約267トン、5.9%もの減

少となっています。

搬出物の内訳でございますが、左側、有償・無償の資源物から申し上げます。総量が前年同期と比較いたしまして約362トンの減少となっています。これは、プラスチック圧縮こん包機の更新工事により、容リ・プラスチックで約319トンの減少となったことが大きく影響しているものでございます。また、A鉄につきましては不燃ごみの搬入の減少に比例して減少しているものと分析しているところでございます。

次に、右側の逆有償の資源物搬出の欄をごらんください。水銀を含む有害廃棄物につきましては、水銀対策の啓発効果もあり、総量は少ないものの、大きな増加率となっています。また、処理困難物につきましては、今期は、廃消火器や陶磁器などの処理を委託したものでございます。

続きまして、資料-4をごらんください。リサイクルセンターの平成25年4月から平成26年3月までの平成25年度1年間の状況でございます。搬入実績につきましては微減傾向が続いていますが、前年度と比較いたしまして、施設の稼働日数が257日ということで、3日少なかったこともあり、3.1%の減少となっています。その他の要因といたしましては、これまでもご説明申し上げてきましたように、クリーンプラザふじみの稼働によるものと考えているところでございます。

搬出実績につきましても、前年同期と比較いたしまして、総搬出量が約1,377トン、7.2%の減少となっています。

搬出物の内訳でございますが、左側の有償・無償の資源物から申し上げます。総量は前年から微減となっていますが、B鉄が約308トン、34.2%と大きく増加しています。これは既にご報告いたしておるところでございますが、平成24年10月以降、手選別した小型家電を全てB鉄に分類して売却できていることによるものでございます。一方で、容リ・プラスチックが約451トンの減少となりました。これは、先ほど第4・四半期の実績でご説明したとおりでございます。

次に、右側の逆有償の資源物搬出の欄をごらんください。残渣を含め、プラスチック類につきましては、クリーンプラザふじみにおいて、全て焼却処理し、熱回収をいたしました。水銀を含む有害廃棄物及び処理困難物について逆有償での処分となったところでございます。廃乾電池及び廃蛍光管につきましては、水銀対策の啓発の成果として大幅に増加をいたしました。なお、処理困難物につきましては、先ほどご説明申し上げたもののほか、年度当初におきまして使い捨てライター等を処理したものでございます。

続きまして、有価物品等の価格の推移でございます。資料－５をごらんください。平成26年第1回定例会以降の状況についてご説明を申し上げます。

4月1日に有償資源物の入札を実施いたしました。その結果、ペットボトル及び鉄類で、これまでと比べ単価が下がってしまいました。特に鉄類が、この3カ月で大きく値を下げていることがちょっと気がかりな状況でございます。アルミにつきましては堅調に推移し、単価が上昇しているところでございます。なお、B鉄の単価が激減をしておりますが、B鉄は6番の単価ですが、1万3,000円から6,000円と激減しているところでございますが、これは価値の高い小型家電を分離させたことによるものでございます。一番下、18番の小型家電の欄をごらんください。これまでのB鉄、1万3,000円に比べまして、単価が大幅に上昇し、1万6,000円となったところでございます。今後も市況を見ながら適切かつ有利な価格で売却できるよう努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

私からの報告は以上でございます。

○議長（渡辺進二郎君） 管理者からの報告は以上でございます。

ただいまの管理者の報告につきまして、質疑のある方の挙手をお願いいたします。ございませんか。平野議員。

○1番（平野充君） 2点、お聞きしたいと思います。

1つは、第2回のふじみまつりに向けてですけれども、先ほど管理者より、クリーンプラザふじみへのご理解と、また、三鷹市、調布市の交流がさらに深まるようにという思いの中で、実行委員会方式で行ってまいりますのご報告をいただきましたけれども、実行委員会方式ですので、直接このふじみ衛生組合が企画や運営をすることではないとは思いますが、2回目、よりよいものにするために、やはり目標なり、また、人数においてもそうですけれども、企画面においてもよりいいものというふうに目標を掲げたほうがよろしいかと思っておりますけれども、その辺のバックアップといいますか、応援のためにも、何かふじみ衛生組合としてできることなどを考えてあげていただきたいなと思っておりますけれども、実際、お祭り一つ行うにしても、やはり多少費用もかかりますけれども、そういった費用面での支援というのは何か具体的にあるのかどうか、それが1点です。

それと、もう一つは、水銀に関してですけれども、参考資料の中で、経過の部分において、4月23日に水銀濃度が上昇して、26日に再開したということですが、もう一つの参考資料に、武蔵野市とのごみ処理相互支援についての中で、4月14日から25日まで

武蔵野市さんのごみを受け入れておりますけれども、この原因がどこかわかりませんが、ひょっとして、この4月14日から25日の間に起きていますので、これとの絡みはなかったのか、調査とかもされていると思うんですけども、その辺をもう少し詳しくお伺いしたいなと思いました。

以上です。

○議長（渡辺進二郎君） 齊藤事務局次長。

○事務局次長（齊藤忠慶君） まず、1点目のふじみまつりについてご回答いたします。

私どもの組合は実行委員会方式でやるということになりましたけれども、事務局の職員につきましても会合には既に参加させていただいておるところでございます。それで、当然事務局の職員としても、日ごろ環境学習推進委員さんというボランティアの方々と、説明をなさっていらっしゃる方々と交流もございますので、そのような、日ごろ市民の方と接している方のご意見も反映させながら、委員の皆さんと一緒にイベントの中の出し物等をさらに数を増やしていこうと一緒に検討しているところでございます。

あと、予算的なものでございますけれども、本年度予算、ご承認いただいたところで、おおよそ昨年よりは100万円程度増加させていただいて、設備面、あるいは施策面でも拡充してまいりたいと思っているところでございます。

○議長（渡辺進二郎君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 2点目の水銀の問題でございます。ちょうど武蔵野市との相互支援の期間に起きているということで、その可能性という点でございますけれども、基本的には、武蔵野市も、三鷹市、調布市同様、有害ごみについては分別して、燃やせるごみには入れないような指導をしております。また、今回発生しました水銀の超過でございますけれども、とても家庭のごみとは考えにくいような量の水銀で起きているというようなこともございます。武蔵野市から相互支援で受けているごみについては、基本的には一般家庭のごみということになりますので、可能性としては低いのではないかと考えています。ただ、時期は一致していますので、今後も三鷹市、調布市とも連携いたしますし、武蔵野市にもお声かけをさせていただいて、こういったごみについては分別して集めていきたいと思います。よろしくお願いたします。

○議長（渡辺進二郎君） 平野議員。

○1番（平野充君） よくわかりました。ありがとうございました。

○議長（渡辺進二郎君） 緒方一郎議員。

○6番（緒方一郎君） 3点お伺いたします。

今のふじみ祭りの件でございますけれども、日程はもう決まったのでしょうか。というのは、第1回目がやはり秋の行事、いろいろなところと重なって行われますので、議員も参加させていただきましたけれども、はしごせざるを得ないということもございまして、内容面、それから、来ていただく範囲、それから、逆に言いますと、市民の方にも、ふじみに行くこんなものがあるという特徴ですね、こういったことも積極的にアピールをして、三鷹市、調布市の広報にもきっちり載せていただいて、来ていただける工夫が必要かと思えます。

それから、近隣の企業あるいは大学、高校といった地域の方々のコラボレーションといえますか、ご参加もあったわけでございますが、これをもっと拡充してほしいということ、つまり、ふじみまつりならでは、三鷹、調布のイベントとしては唯一でございますので、そういう特徴づけをお願いしたいと思えますが、いかがお考えでしょうか。

それから、2番目が見学でございます。先ほども海外からの見学ということがございました。この海外からの見学というのは、いろいろ見方というか、見どころというのがおありになると思うんですが、例えば、施設、設備そのものについて、あるいは資金繰りといえますか、契約的なもの、それから、運営や運用、あるいは地域とのかかわり、これは外国ですとなかなかどこに置かれるかによって、地域対策とか全然違う場合もあるかと思えます。あるいは発電といったものとか、どこにやっぱり一番興味、関心を持たれ、お帰りになったときにはこれが参考になったというようなお声をいただいているのか、お聞かせいただければと思えます。

それから、最後、3番目が水銀の混入でございます。これは、もちろんこれから調査といえますか、どういうところで水銀が扱われているかということもあります。最悪の場合、故意といえますか、テロとまで言いませんけれども、故意にとか愉快犯とかということも考えられますので、これは実態調査と、それから、広報、お願いということは車の両輪でございまして、慎重かつ大胆にアピールしていかなきゃいけないと思えますので、その辺の今後の広報における考え方をお聞かせいただきたいと思えます。

以上です。

○議長（渡辺進二郎君） 清原管理者。

○管理者（清原慶子君） ご質問ありがとうございます。3点目の水銀の混入に対する

対応について答弁をいたします。その他については担当より補足いたさせますのでよろしくをお願いいたします。

昨年の4月、この水銀の混入が本格稼働直後に発生いたしまして、管理者であります私も、副管理者であります調布市長も、大変これは大きなことと受けとめました。そして、地元協議会、市民の皆様、安全衛生専門委員会の皆様に、とりわけ専門的な見地からご提言もいただき、議会でも対応についての具体的なお質問やご提案、激励もいただきまして、いろいろな角度から啓発活動、あるいは抜き打ち調査等をしてまいりました。そして、一定程度、全体の状況がおさまったと思っておりました、ちょうど本格稼働1年たちました今年の4月に、このことが発生いたしました。

改めて、質問議員さんがご指摘のように、私たちも、やはりさらなる取り組みをというふうに考えております。

一方で、三鷹市、そして調布市の市のごみ行政の部門で、一層の啓発活動をいたしますとともに、一般ごみというよりは、どちらかという、やはり事業系のごみであることが強く推測されますので、先ほど実態調査と申しましたが、これはやはりなかなか水銀保有の実態を客観的につかんでいるデータもないことから、みずからやはりきちんとさせていただき、実態を知る中で、どのように最終的な水銀の処理を連携していくことが混入を防ぐことになるかということについての話し合いもできるかというふうに考えております。

したがって、ふじみ衛生組合としてPRをさせていただきだけでなく、三鷹市、調布市のそれぞれのごみ対策の担当部門が一致団結して啓発は続けてまいりますし、抜き打ちの検査も続けてまいります。さらに個別具体的に水銀を保有している可能性のある事業者、団体等に、一層のご協力をいただくように、きめ細かい対応をして、このような事態を防いでまいりたいと考えております。

よろしくをお願いいたします。

○議長（渡辺進二郎君） 齊藤事務局次長。

○事務局次長（齊藤忠慶君） 1点目のふじみまつりについてお答え申し上げます。

日程につきましては、11月23日ということで確定をさせていただきたいと思っております。

実は、私ども、今回は、昨年の実績を踏まえまして、第1回目、4月に、実行委員会のプレという形で開催させていただきまして、そこで26年度の両市の行事、イベントの事前調査をさせていただきまして、候補日を何点か出させていただいて、こういう日程で確

定をさせていただいたという背景でございます。

あと、祭りの実施に当たりましては、議員さんのほうからご提案ありましたように、近隣の皆様とかというお話も、お声かけがありますけれども、委員さんのほうからも、そういったところのご意見をいただいております。昨年も、例えば消防署さんとか、消防団さんとか、警察とかというところでご協力もいただいておりますので、そういったところについても活用しながら、近隣の企業さんもいらっしゃいますので、お声をかけて、できるだけ共同で実施したいと、動いていきたいと考えているところでございます。

また、祭りの特徴という形でございますけれども、やっぱり私どものほうで施設のPR、そして、私どもの組合が安全、安心で稼働しているというところを、皆様、実際に来ていただいて、その辺をPRしていくのが一番大切なことかなと考えているところでございます。あわせて、昨年もありましたワークショップ等々、あるいはふだん見られないような中の施設を見ていただくというところで、広く皆様に愛される施設という形をPRできればなというふうに、今年度も充実して、そういう形のPRを兼ねてやりたいと思っております。

以上です。

○議長（渡辺進二郎君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 2点目の、海外のお客様がどのような視点で視察に来られているかという点でございますけれども、大きく分けると2点ほどあるかと思っております。

まず、1点目は、排ガス処理を中心とするプラント技術ということでございまして、日本の焼却技術は世界にも誇れる技術を持っております。そのようなことから、特に東南アジアを中心に、PM2.5をはじめとする大気汚染の問題、そういった深刻な問題を抱えていますので、ぜひ日本の焼却技術を見てみたいというのが大きな1点目です。

それから、2点目としましては、やはり資金の問題がございます。東南アジアの国々は、国民所得も低く税金も少ないという中で、焼却施設はつくりたいけれども、どのように資金繰りを行っていくかということで、PFIを中心とした民間活力の導入、その辺の視点、それから、もう一つは、施設が稼働いたしますと売電収入が入ってまいります。その辺の売電収入の実際の金額等について非常に興味があるということで、こちらに視察にお見えになる方が多いということでございます。

○議長（渡辺進二郎君） 緒方一郎議員。

○6番（緒方一郎君） ご答弁ありがとうございます。

それで、追加といいますか、補足でお願いしたいと思いますが、水銀ですが、一般論としてお伺いしますが、事業者の方が水銀を廃棄したいと、それから、一般市民の方でも、体温計とか温度計で水銀があるものを廃棄したいという場合には、どこに持ってくればいいんですか。もちろん事業者の方というのは、処理技術や処理方法をご存じだと思いますが、一般の方は、隠れて捨てちゃえばいいんじゃないかということがあっちゃいけないので、そういう場合にはこういう形で持ってきていただきたい、利用者に対して明確にお示しいただきたいと思います。

それから、もう一つは、ふじみまつのほうです。民間企業もそうでございますが、調布市様のほうでJAXAさんとか、船研、航空研、それから地方銀行協会等もお近くにございまして、ぜひそういったところもご参加いただいて、盛り上げていただくというような観点はいかがかと思ひまして、ご答弁をお願いいたします。

それから、3番目の見学のごことはよくわかりました。これはほんとうに、先ほどもお話しありましたが、中国の方、マレーシアの方が一緒に来られれば、ぜひこういう環境問題で平和を築くということに貢献していただきたいと思いますが、よろしく願ひします。

2点で願ひします。

○議長（渡辺進二郎君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 水銀をどちらのほうへ持ち込むのかというお話でございますが、今まではもし事業者から問い合わせがあれば三鷹市、調布市とも水銀を専門に処理する業者を紹介していますし、一般家庭から出るものについては、有害ごみとして搬出することができますので、有害ごみとして出していただいて、ふじみ衛生組合におきまして、それを民間の専門業者のほうに引き渡して、安全に処理をしていただいているというような流れがございます。

ただ、今回の問題を契機に、どうしてもお困りの事業者から問い合わせがあった場合には、三鷹市、調布市、ふじみ衛生組合が連携して行政回収をしようというようなことを今検討しております。それによりまして、事業者が保管している含水銀廃棄物を、ごみ袋に入れてしまうというようなことがないようにしていきたいということで、今後、三鷹市、調布市とも協力しながら、行政回収に努めてまいりたいというふうに考えているところでございます。

○議長（渡辺進二郎君） 齊藤事務局次長。

○事務局次長（齊藤忠慶君） 個別のお名前をいただきまして、ご参加という形のご意見をいただきましてありがとうございます。実は、今おっしゃったJAXAさんなどは、私どもの実行委員さんが、お祭りが終わってからちょっとお声がけをさせていただいたという実績もございますので、そういったような橋渡しをやっていただいているところもございますので、私どもも早目にご同行して、こういったような趣旨だということで、お祭りをご説明して、できる限りの形でご賛同していただければなと思って、これから動いていこうと思っているところでございます。

○議長（渡辺進二郎君） 緒方一郎議員。

○6番（緒方一郎君） ご答弁ありがとうございます。

先ほどの行政回収を含めて、監視とか指摘だけじゃなくて、きちんと回収していくということがすごく大事だと思います。今のお話も含めまして、どうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

○議長（渡辺進二郎君） 半田伸明議員。

○7番（半田伸明君） 何点か質問します。

まず、前回の定例会のときに、先ほどから話題に上っております、ふじみまつりの委託料を質問した際に、決算ベースの数字をお聞きしたんですが、その場では出なくて、後ほどと言って、実は数字を先ほどいただきました。これは私は個人的にはかなり問題だと思っております。調布市さんであろうが、三鷹市さんであろうが、予算委員会ないし決算委員会で、後ほどといったら、普通はどんなに時間がかかっても数日以内、それが次の定例会に報告というのは、私はいかかなものかと思っておりますので、まずそのことを苦言を申し上げておきます。それを前提とした質問をいたします。

前回の質問で、70万で足りない、実際に70万超えてしまったと。ほかの部分から流用せざるを得なかったということで、じゃ、その流用額は幾らなんだというような質問の流れでお聞きしたところ、先ほどいただいたペーパーによりますと、実際には会場設営は71万3,000円ほどだったと。展示物、運搬というのは5万2,000円ほどだったと。合計で76万6,000円ほどだったと。ところが、これを見る限りでは6万ちょっとのオーバーで済んでいるわけです。ところが、前回の議事録、先ほど配付、ご頂戴いたしましたが、これを見ておきますと、設営関係とかで足りなかったというご答弁だったわけですね。76万というのに対して150万の予算設定というのは、ちょっとやはり首をかし

げざるを得ないです。この点は、実際はどういったご議論があったのか。会場設営と展示物運搬という、この2社だけで足りない分を補うんだっただけならまだわかるんですが、それにしても約80万ほどの増額というのは、ちょっと不思議な感じがいたします。実際には使用対象を増やすといいますか、そういったことを考えて150万になったのかどうかについて、前回定例会の質問、引き続きで大変恐縮ではございますが、1点確認しておきたい。

あと、水銀の件でございます。なぜこの時期なのかというのがやっぱりちょっと気になります。どうしても春先、去年もそうだったですね。この時期、どたばたどたばたしてましたよね。そのことを考えますと、結局、ごみを捨てる民間会社さんのほうも、このペーパーにもちよろっと書いてありますけれども、実はごみの捨て方の引き継ぎがなくなるとか、考えられなくもないのかなと。毎月といいますか、数カ月単位で定期的にかかるということではなくて、春先にぽこん、ぽこんというのが、どうしても私、そこが引っかかっているんです。

そこで、原因のところを見ておきますと、新旧合わせてということでございますので、例えば、去年の回収の残りをたまたま引っ張り上げて一緒にやっちゃった結果、こうなっちゃったということなのか、それとも、新しく捨てられたものなのか特定できませんという表現になっておりますよね。特定できないのは無理もないと思うんですが、季節柄、この時期に発生したということのを重く捉えて、新規に発生させないための、先ほど啓発の話もございましたが、特定事業者に対するお話もございました。もう少し何かワンプッシュあってもいいのかなという気がいたします。これが、もしもう1年たって、来年もこの時期に発生するとなると、より一層、季節要因というのがはっきりしてくるのかなという気がします。この季節要因を特定できるかどうかは、やっぱり数年たたないといけないのかなという気もするんですね。

気になっているのは、数年たった後、炉の状態が大変なことに例えばなっていたと、そういったときに修理をしますということになって手おくれだったとなると、これは大変な話になっていくわけですね。そこで、やはり一定の決断といいますか、秋ごろでしたかね、各種修理、補修の話もございました。そういうことをやらずに、今のままでいけるのか、それとも、やっぱりやっておいたほうがいいのかということが、季節要因も絡めて、一回、根本的な議論をしておくべきなのかなと思います。この点について内部の議論、お聞かせをいただきたいと思います。

以上2点、お願いいたします。

○議長（渡辺進二郎君） 齊藤事務局次長。

○事務局次長（齊藤忠慶君） 1点目のお答えをいたします。

お祭りの今回の予算という形で150万円ほど計上させていただいております。これにつきましては、ご指摘のとおり、拡充していきたいということです。ですので、施設のほうとしてのブースを広げていく、雨対策も兼ねてでございますけれども、あるいは日よけという形もございますので、昨年の経験をもとに、皆様が行っても心地よい形で何か対応ができればと、考えております。

また、あわせて、ご賛同いただくあるいは協賛していただく団体さん等でも、何らかの形で私どもの援助ができればなと思っていますので、その分、参加団体を増やしていく上でそういったところの手当も少しは援助できれば思っているところで、こういった予算の計上になっているところでございます。

あと、2点目の水銀でございますけれども、これは時期的なものというところはおっしゃるとおりで、経年的に見ないとわからないというのがございます。ただ、ここのところで2年、同じような形で4月あるいは5月という春先に出ている、これは何らかの形で、人の移動という、引っ越しとかはそうですね、どちらかというとも3月、4月というのはそういったような傾向が多いと一般的に思われますので、そういったところの要因もやっぱり我々としては考えていかなければならないところでございます。これから両市との連携になってくると思いますが、ある程度先に、皆さんにお知らせしていく、分別をきちんとやっていただく等々、そのような啓発も必要になってくると思っているところでございます。

あと、設備のほうにつきましても、もう少し様子を見ながらという形で、あとは、安全衛生専門委員会でもご議論をしていただくところでございますので、このような議会の参考意見という形でご紹介しながら一緒に検討させていただきたいと思っているところでございます。

○議長（渡辺進二郎君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 設備についてのご心配ということでご質問をいただきました。設備につきましては、必ず毎年1回、1号炉、2号炉とも同時にとめまして、共通系も含めまして、定期点検を行い、傷んでいるところについては補修を行うということをやっております。今年も6月に、全炉停止をいたしまして、点検整備を行う予定でございます。このときに、当然、今回の水銀の影響について調べますし、影響があれば、その部

分については部品の取りかえ等を行っていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（渡辺進二郎君） 半田申明議員。

○7番（半田申明君） ご答弁ありがとうございました。

ふじみまつりについては、何を危惧しているかという点、前回定例会でも申し上げましたが、ある特定の人件費とかに消えてしまわないように、必要経費で150万なんだということを説明できないと、これは意味がないわけです。特定団体に対する財政支援というのがあった場合、これは別の観点から問題が発生すると思いますので、その点は説明義務を果たせるような支出の形態であるべきことを申し添えまして、もうおわかりになっていらっしゃると思います。規模の拡充というのはよくわかりました。拡充するのはお金が増えるのはしょうがない話ですから、拡充した分、これだけ増えますということを説明できるのであれば、それはそれでいいのかなと思いますので、その点が気になったということの問題提起でございました。

あと、水銀はわかりました。どうしても施設がどんどんやばくなっていくんじゃないのという危機感があって、毎年毎年、3年、4年、5年たつて、実は毎回同じこと、気がついたら大変なことになっていたというのだけはちょっと避けたいなというのがありますので、その点についての危惧感を表明したということでございます。

ご答弁ありがとうございました。終わります。

○議長（渡辺進二郎君） ほかに質疑ございますか。田中議員。

○5番（田中久和君） 私からも水銀につきまして、1点質問をさせていただきたいと思っております。もうさまざま質疑が出ているところでございますけれども、私のほうからは、自主規制値についてお伺いをしたいと思います。

今日初めて私も出席をさせていただいたわけでございまして、大変勉強不足でございませぬけれども、この自主規制値という数字がどういう数字なのかという部分。それから、ふじみ以外での数値の設定、他と比較してどうなのかということについてお伺いできればと思います。よろしくお願いをいたします。

○議長（渡辺進二郎君） 清原管理者。

○管理者（清原慶子君） ご質問ありがとうございます。水銀の規制値について、考え方を最初に答弁させていただき、その後、担当より補足いたさせます。

この水銀の規制値につきましては、全ての可燃ごみ処理施設が設置しているものではあ

りません。しかしながら、三鷹市、調布市の市民参加の中で、また、地元協議会の皆様のご意見を踏まえまして、安全で安心して稼働できる可燃ごみ処理施設を建設しようということで、管理者、副管理者、そして事務局で検討いたしまして、先行事例はそんなに多くはございませんけれども、私たちとしてはこの自主規制値を定めることと決断いたしました。

したがって、一般的に水銀の自主規制値まで決めていない先行事例がある中、このようにさせていただきまして、とりわけほかの値に比べまして、この間、クリーンプラザふじみでは水銀値について規制値を超えるということが発生しております。ただし、ほかの数値につきましては、おかげさまで安定的に稼働されておりますので、私としては複数の議員さんからも、改めまして、問題提起とご質問をいただきましたように、水銀については、今の段階で対応をしっかりとすることに努めまして、自主規制値そのものを改める気持ちではございませんけれども、引き続き安全衛生専門委員会の皆様のご専門の見地からのご意見もいただきながら努めていきたいと考えております。

それでは、補足いたさせますので、よろしく申し上げます。

○議長（渡辺進二郎君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 水銀の0.05ミリグラム／立米という基準でございますけれども、この基準は作業安全基準から来ておりまして、この濃度のもとで作業をしたとしても十分安全に作業ができる、人間が健康に生きていけるという基準でございます。それが煙突出口で0.05ということございまして、実際には地上におりてくるまでには10万倍から、風速によっては百億倍に拡散されるということになり薄まってまいりますので、人間への影響、環境、健康への影響はないというふうに私どもは考えております。

ほかの自治体の事例でございますけれども、先行しておりましたのは、東京二十三区清掃一部事務組合の比較的新しい工場が、水銀の自主規制値を設けておりまして、それが今回ふじみ衛生組合で採用いたしました、0.05という数字でございます。ふじみ衛生組合は先行する自治体の事例も参考にしながら、地元の皆様、住民の皆様とともに検討してまいったということでございます。

そのほかの自治体ではほとんど自主規制値を設けていないというのが実情でございます、二十三区清掃一部事務組合の事例を参考に今までできております。

以上でございます。

○議長（渡辺進二郎君） 田中議員。

○5番（田中久和君） ありがとうございます。

大変厳しい数値だと思っております。いいことだなと思います。他の施設でこういった事故、事態が発生しているということもあるんでしょう。おそらく日本全国見渡せばあると私は思っておりますし、そういったところを参考にさせていただいて、今後のふじみ衛生組合に役立てていっていただきたいと思います。先ほど管理者からも説明のとおりでございますけれども、水際の対応の強化、ぜひとも図っていただきたいと思います。

終わります。

○議長（渡辺進二郎君） ほかに質疑ございますか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡辺進二郎君） 以上で質疑を打ち切ります。

以上、5件は報告のとおりご了承をお願いしたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡辺進二郎君） ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いいたします。

---

日程第6 議案第6号 ふじみ衛生組合議会の議員その他非常勤  
の職員の公務災害補償等に関する条例の  
一部を改正する条例

○議長（渡辺進二郎君） 次に、日程第6、議案第6号、ふじみ衛生組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例を議題といたします。

それでは、書記に議案の朗読をさせます。齊藤事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（渡辺進二郎君） 朗読は終わりました。

続いて管理者からの提案理由の説明を求めます。清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 議案第6号、ふじみ衛生組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

本案につきましては、法律の一部改正に伴う用語の整理を行うものであり、障害者自立支援法の一部改正に伴い、引用する法律名を、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に

支援するための法律に改めるとともに、引用する条項を第5条第11項に改めるものでございます。

公布の日から施行いたしたいと存じます。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

○議長（渡辺進二郎君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡辺進二郎君） それでは、以上で質疑を打ち切り、討論を省略して採決したいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡辺進二郎君） ご異議なしと認め、これより採決いたします。

議案第6号、ふじみ衛生組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（渡辺進二郎君） 満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第7 議案第7号 監査委員の選任について

○議長（渡辺進二郎君） 続きまして、日程第7、議案第7号、監査委員の選任についてを議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。齊藤事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（渡辺進二郎君） 朗読は終わりました。

管理者からの提案理由の説明を求めます。清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 議案第7号、監査委員の選任につきまして提案理由の説明を申し上げます。

本案につきましては、ふじみ衛生組合監査委員の黒田克司さんが平成26年5月29日をもって任期満了となりますが、引き続き、黒田克司さんを監査委員として選任いたしたいので、議会のご同意をお願いするものでございます。

なお、黒田克司さんにつきましては、お手元に略歴書を配付させていただいておりますので、よろしくご審議の上、ご同意くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長（渡辺進二郎君） お諮りいたします。本案は提案理由も明らかですので、質疑、討論を省略して、直ちに採決したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡辺進二郎君） ご異議なしと認め、これより採決いたします。

議案第7号、監査委員の選任について、原案のとおり同意することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（渡辺進二郎君） 満場一致と認めます。よって、本案は原案に同意することに決しました。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

それでは、これで会議を閉じます。ご苦労さまでございました。

午前11時07分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない  
ことを証するためここに署名する。

平成26年5月22日

ふじみ衛生組合議会議長

渡辺進二郎

ふじみ衛生組合議員5番

田中久和

ふじみ衛生組合議員10番

大城美幸